

# 全日本杖道大会要領

1. 試合方法
  - (1) あらかじめ2人1組を抽選により、トーナメント方式にて、初段・二段・三段の部は準決勝まで行い、四段・五段・六段・七段の部は1位、2位を決める。
  - (2) 判定は仕・打交代して勝敗を決める。
  - (3) 2人1組の選手は、同段位とする。
  
2. 演武の本数と指定技
  - (1) 段別個人試合  
演武本数は、各段位とも6本とし、指定技は下記のとおりとする。  
初段の部 ①着 杖 ②水 月 ③引 提 ④斜 面 ⑤左 貫 ⑥物 見  
二段の部 ①水 月 ②引 提 ③斜 面 ④左 貫 ⑤物 見 ⑥霞  
三段の部 ①引 提 ②斜 面 ③左 貫 ④物 見 ⑤霞 ⑥太刀落  
四段の部 ①斜 面 ②左 貫 ③物 見 ④霞 ⑤太刀落 ⑥雷 打  
五段の部 ①左 貫 ②物 見 ③霞 ④太刀落 ⑤雷 打 ⑥正 眼  
六段の部 ①物 見 ②霞 ③太刀落 ④雷 打 ⑤正 眼 ⑥乱 留  
七段の部 ①霞 ②太刀落 ③雷 打 ④正 眼 ⑤乱 留 ⑥乱 合  
\* 初段・二段・三段の部は、決勝戦を行わない。  
\* 演武は、① ② ③ ④ ⑤ ⑥の順に行い、前半3本で「仕・打」交代し、後半3本を行う。※別紙審判員・試合者要領参照。
  - (2) 個人演武（全剣連杖道の部）  
演武本数は、六・七・八段とも5本とし、仕・打交代せず指定技は下記のとおりとする。  
共 通 ①太刀落 ②雷 打 ③正 眼 ④乱 留 ⑤乱 合
  - (3) 個人演武（古流の部）  
演武本数は、六・七・八段とも5本とし、技は任意とする。
  
3. 審判方法
  - (1) 審判員は、3名を以って構成する。
  - (2) 勝敗は、3名の審判員の多数決による。
  - (3) 全剣連杖道「審判上の着眼点」による。
  - (4) 主審は、試合者が開始線の位置について時、「始め」と宣告して試合を開始させる。
  - (5) 試合の終了と同時に、審判員は起立し、主審の「判定」の合図により、三者同時に意思表示する。
  - (6) 主審は、「赤（白）の勝ち……勝負あり」と宣告する。
  
4. 服 装
  - (1) 審判員は、剣道着・袴を着用し、名札を左胸部に付けること。
  - (2) 段別個人試合および個人演武出場者は、剣道着・袴を着用し、名札を左胸部に付けること。